

九州建設専門工事業 ニュース

題字は日高名誉会長筆

発行所 (一社)福岡県建設専門工事業団体連合会 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目6-5 ホワイティ薬院506号 電話092(406)6776番 発行人 杉山秀彦

香椎工業高で作業体験 整備局と九州建専連が出前授業



建設産業専門団体九州地区連合会(宮村博良会長)と九州地方整備局は、2月26・27日の2日間、福岡県立香椎工業高校の生徒を対象とした出前授業「写真」を、福岡市東区の同校で開催した。

電気科2年生の79人が参加し、足場設置、鉄筋ガス圧接、鉄筋結束、型枠組み立て、解体工事の体験を行った。

特定技能外国人制度など 建専連が経営革新研修

建専連が経営革新研修

福岡市博多区の八仙閣で開催され、関係者ら30人が参加。昨年12月に施行された建設業法改正の概要や適正な労務費等の確保のための標準労務費の活用、特定技能外国人制度について理解を深めた。



(一社)建設産業専門団体連合会(岩田正吾会長)は、1月下旬より令和7年度「建設専門業の経営革新支援研修会」を全国10会場で開催している。九州地区は2月3日

いさつした。

また、九州地整備局の朝崎豊建設産業調整官が、インフラの整備や建物の建設、災害復旧など、建設業の役割について説明。新4Kなどを紹介し、建設業について「地図や記憶に残る誇らしい産業で、大きなスケールでのダイナミックなもののつくりを楽しむことができる」と話した。

体験では、福岡県高土工業連合会が足場設置、西日本庄接業協同組合が鉄筋ガス圧接、福岡県鉄筋事業協同組合が鉄筋結束、(一社)日本型枠工事業協会九州支部が型枠組み立て、(一社)福岡県解体工事業協会が解体工事の作業を生徒にレクチャーし、実際に作業に取り組んだ。

解体工事では、バックホウでゴーンをつかんで動かす操作を行い、生徒

修会では、建設業界を取り巻く状況を共有し、担い手不足などの解決策を見つけてもらえれば幸いだ」とあいさつ。

研修では、九州地方整備局建設部の朝崎豊建設産業調整官が改正建設業法について解説。労働者の処遇改善のため「労務費に関する基準」が作成され昨年12月に実施が勧められた。国交省では職種分野別に適正な労務費の具体値を1m当たり、1m²当たり等の単位施工量当たりの労務費の形で「基準値」として公表した。また、労務費に関する基準の実効性確保策、CCUSレベル別年収改定、建設Gメンの役割な

労務費の実効性議論 福岡県と意見交換開く

福岡県と意見交換開く

九州建専連



からは「思ったよりも難しかった」などの声が聞かれた。足場設置では、高所で作業するための足場が重く、組み立てる際に苦戦する生徒の姿もあった。

その後、体育館で九州地整備局現場にて用い

建設産業専門団体九州地区連合会(宮村博良会長)は2月12日、福岡市博多区の千代合同庁舎で福岡県との意見交換会を開いた「写真」。労務費基準の実効性確保や適正な工期設定などを中心に議論。九州建専連は労務費の基準を元請下請契約に適切に反映させることが処遇改善の前提となる

と指摘し、県に周知・指導強化を求めた。これらについて理解を求めた。

続いて、(一社)建設技能人材機構(JAC)の山王一郎広報部長が「建設分野の特定技能外国人制度について」を説明。令和9年度から外国人技能実習制度に代わり育成就労制度が創設されることから、改正法の概要や特定技能1号や2号になるためのルートを紹介。また、JACは58建設業者団体から構成されており、特定技能外国人受入事業実施法人として「スキルアップ、働きやすい職場環境づくり」への支援を行うことで、選ばれる日本の建設産業を目指すとしている。

事前には、建設現場の点検測量を行っており、その3Dデータをスクリーンで見せ、どのように利用するかなどを説明した。生徒らは熱心に作業に取り組む、建設業への理解と興味を深めたようだった。

算確保と発注の平準化、猛暑期における夜間工事の導入などを求めた。また、人手不足への対応として特定技能外国人の現場代理人・主任技術者への配置、施工日数の短さを踏まえた現場代理人兼務条件の緩和など制度面の配慮を求めた。

これに対し県は、地域建設業者の受注機会確保と適正利潤確保につながるとして、専門工種は可能な限り分離・分割発注に努めていると説明。事業量の安定化に向けては年度早期発注や債務負担行為の活用、繰り越し手続きの迅速化などにより発注の平準化を図っているとした。特定技能外国人については、直接雇用関係などの要件を満たせば現場代理人・主任技術者として配置可能と回答し、現場代理人の兼務についても工事完成後の検査までの期間は他工事への配置が可能となる場合があるとした。

九州各県との意見交換の共通テーマである「労務費の基準の実効性ある活用」について議論した。九州建専連からは、中央建設業審議会が勧告した基準を元請け・下請け間の契約に適切に反映させることが処遇改善の

i-Hornetsが、実際に実機を飛ばした。さらに、生徒がチームに分かれてトイドロロンを操縦し、チームに分かれてレースを行った。生徒らは熱心に作業に取り組む、建設業への理解と興味を深めたようだった。

算確保と発注の平準化、猛暑期における夜間工事の導入などを求めた。また、人手不足への対応として特定技能外国人の現場代理人・主任技術者への配置、施工日数の短さを踏まえた現場代理人兼務条件の緩和など制度面の配慮を求めた。

これに対し県は、地域建設業者の受注機会確保と適正利潤確保につながるとして、専門工種は可能な限り分離・分割発注に努めていると説明。事業量の安定化に向けては年度早期発注や債務負担行為の活用、繰り越し手続きの迅速化などにより発注の平準化を図っているとした。特定技能外国人については、直接雇用関係などの要件を満たせば現場代理人・主任技術者として配置可能と回答し、現場代理人の兼務についても工事完成後の検査までの期間は他工事への配置が可能となる場合があるとした。

九州各県との意見交換の共通テーマである「労務費の基準の実効性ある活用」について議論した。九州建専連からは、中央建設業審議会が勧告した基準を元請け・下請け間の契約に適切に反映させることが処遇改善の

前提になると指摘し、発注者としての周知・指導強化を要望した。これに対し県は、ホームページやオンライン研修を通じて周知を進めるとともに、公共工事の積算は適正な労務費を反映した単価で行い、物価変動にもスライド条項で対応しているとした。

また、九州建専連からは、元請けに標準見積もりを提出しても採用されにくく「予算がない」として交渉が進まないなど、現場では基準が十分浸透していないとの声も上がり、監視体制の強化を求める意見があった。

これに関連して九州地方整備局は、労務費の基準が反映されているか発注者も含め調査・指導を実施しており、昨年度84件、今年度は約160件規模で調査を進めていると説明。不適切な取引が疑われる場合は情報提供を求め、必要な対応を取る方針を示した。

適正な工期設定について九州建専連は、4週8休の定着や猛暑時の休憩確保のため余裕ある工期設定を求めた。これに対し県の建築都市部は、平成30年度から週休2日促進工事を実施し令和6年度は達成率100%となったと説明。熱中症対策費を諸経費に計上しているほか、猛暑日を見込んだ日数を工期に反映し、法改正に伴う対策強化の周知を市町村研修などで進めていると回答したほか、週休2日の推進に見合う適正工期の確保に努めていると示した。

(政府労災上乗せ補償+普通死亡保障)充実した制度 建団連共済会に入会しましょう!!

【建設業福利厚生制度】記名+無記名式

(A型)総合共済制度

1口につき
月会費1,100円で 労災死亡930万
一般死亡230万

(記名者・新規加入満66歳まで)
(継続加入は70歳まで)*『経営事項審査制度』*
下請け担保で加点評価

安い会費で内容最高!

【建設業福利厚生制度】無記名式

(B型)建設安全共済制度

1口 月会費300円で労災死亡500万
おひとり様3口まで加入でき、労災死亡も1500万と安心

ますます充実魅力を増した
最良の共済制度にぜひ入会を!

会員の皆様御紹介よろしくお願いします。(お問い合わせ・お申込み)

(詳しくはパンフレットをご覧ください。請求先は事務局宛)

建団連共済会事務局

〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目6-5 ホワイティ薬院506号
TEL 092(406)6776 FAX 092(406)6701

杉山秀彦会長を再任 九鷲が7年度第3回理事会



九州専工工事業連合会は3月26日、「令和7年度第3回理事会」を福岡市博多区の八仙閣において開催した。写真。九州各県および沖縄の工事量の状況と今後の見通し、各支部の活動状況等について意見を交わした。

ほか、任期満了に伴う役員改選では杉山秀彦会長を再任した。杉山会長（スギヤマ）は「年度末の忙しい中、九州各県および沖縄から駆け付けていただき感謝する。建物を造るには高の仕事は不可欠な職種で

ある一方で、高層建物の場合は特にそれに対応できる技術力や安全対策が必要となる。今後も安全で良い仕事を進めていきたい」とあいさつ。

九州・沖縄8県の支部状況報告では、仕事量は全体的に落ちついており、ダンピングする業者も散見されたとした。職人不足や材料費などの高騰で大型プロジェクトの延期や見直しが出ている地区もあるという。福岡県連として初めて元請けに対する陳情書をもって説明に回ったことも報告。設計労務単価に歩掛係数をかけた金額を採用してもらった元請けに理解を求めているが、しばらくは周知期間になるのではないかと懸念して

本部報告など情報共有

日本型枠九州支部が役員会

（一社）日本型枠工事業協会九州支部（池之上和夫支部長）は2月10日、「令和7年度第3回役員会」を福岡市博多区の八仙閣で開催した。本部状況報告や任期満了に伴う役員改選、総会や秋季研修会の日程などについて意見を交わした。会には、九州各地より各県の分会長ら20人が参加。池之上支部長（伊



佐工務店、福岡）が欠席のため、堀之内広高副支部長（堀之内工務店、鹿児島）を中心に各議題について協議した。写真。本部報告を本部常任理事も兼務する堀之内副支部長が行った。標準労務費の算定方法について、設計労務単価が業種・地域によって公表さ

別意見交換会での要点に合った日程やトライアルの予定などを情報共有した。事務局からは、昨年12月に九地整と九州軀体、九州専で行った業種

あった狩俣廣一氏から下地良一氏に交代した。令和8年度の総会は7月16日（木）16時より、八仙閣で行うことを決定した。

元請に単価改訂の周知へ

福鷲が第2回理事会を開く



福岡県専工工事業連合会（川元末広会長）は2月9日、「令和7年度第2回理事会」を福岡市博多区のTKP博多駅前紫口は「本日は日鷲連の臨時総会の報告や技能検定事前講習会、さらに設計労務単価の改訂が公表されることから、元請けへの周知方法などについて意見交換した。今後とも前向きに検討する」とい

たことや、創立60周年記念事業として式典および祝賀会を5月19日に東京都内で実施するほか、慰霊碑の建立や記念誌の発行も予定しているとした。

鞍手竜徳高校生に作業体験

整備局と九州建専連が出前授業

九州地方整備局と建設産業専門団体九州地区連合会（宮村博良会長）は2月19日、福岡県立鞍手竜徳高等学校の生徒を対象とした出前授業「写真」を同校で開催した。総合学科工業技術系列の2年生約55人が参加し、足場設置や鉄筋ガス圧接など専門工事の作業体験を通じて建設業の魅力や楽しさを体感した。



出前授業は、建設業における次世代の担い手確保の取り組みの一環として実施しているもので、今回は19日と20日の2日間にわたって開催する。授業に先立ち、九州建専連の宮村会長は「職人の仕事は機械にとって代わ

られることはなく、この先も残り続けていくもの。人々の生活に欠かせない建設という仕事の大切さを知ってもらいたい」とあいさつした。オリエンテーションでは、九州地整の担当者が建設業の社会における役割や給与、働き方などの実情を説明。その後、生徒たちは六つのグループに分かれて専門工事の作業を体験した。

今回は、足場設置（協力団体は福岡県高土工業連合会）、鉄筋ガス圧接（西日本建設業協同組合）、鉄筋結束（福岡県鉄筋事業協同組合）、型枠組立（一社）日本型枠工事業協会九州支部、電気工事（一社）

を体感してもらいたい」とあいさつした。福岡県解体工事業協会の体験を実施。生徒たちは担当者による説明や指導を受けながら、それぞれの工種で実際の現場での仕事に近い作業を体験した。

解体重機の操作を体験した生徒は取材に対して「操作が複雑で混乱して少し間違えることもあったが、楽しかった」と感想を述べ、また、鉄筋の圧接を体験した生徒は「丁寧に教えてもらって、思ったよりも簡単にできた。給料が良ければこんな仕事もしてみたい」と話した。体験中、担当者に実際の動き方などについて質問する生徒の姿も見られ、建設業への関心を深めている様子がうかがわれた。

九州地方整備局長賞は久保田氏

第12回西圧協ガス圧接技能大会

西日本圧接業協同組合（松本一彦理事長、会員数33社）は3月8日、「第12回西圧協ガス圧接技能大会」写真を福岡市の福岡県職業能力開発協会で開催した。遠くは岡山市や広島市など西日本から選抜された6社・16人が参加して技術を競い合った結果、久保田進氏（広島ガス圧接、広島市）写真左から2人目が優勝（国土交通省九州地方整備局長賞）した。

開会式で大会実行委員長の松本理事長は、「今年初めて特定技能の外国人材も出場しているの、全員で頑張っている。ガス圧接が使われ始めて74年目となるが、そ

ることを期待している」とした。実技競技では、選手たちは声を出して安全確認しながらD32mmとD25mmの鉄筋6本を酸素アセチレン炎で加熱しながら、軸方向に圧縮力を加えて一体化した。実技終了後は学科試験を行った。審査は、圧接の出来栄えや作業時間、曲げ試験、外観検査、学科試験

など満点25.8点で採点された。審査の結果、2位（全国圧接業協同組合連合会会長賞）は優勝と1点差の23.0点で生野洋平氏（大野ガス圧接、久留米市）、3位（西日本圧接業協同組合理事長賞）は22.6点で濱崎大親氏（平木工業、長崎市）が栄誉に輝いた。写真左から3人目と4人目

表彰式の後、松本理事長は「1位と2位の差は1点と僅差であったように、全体的にレベルが上がっている。指導員がいる会社とそうでない会社ではバラつきがあり、指導員を育てて技術向上を図ってほしい。今年は全圧連が50周年を迎えるが、全国の技能大会を開催しようと思うので協力をお願いする」と講評を寄せた。

また、九州地整と建専連が毎年学校キャラバンを実施しているが、4年前に行った福岡県立鞍手竜徳高等学校でのガス圧接を体験した西村愁真さんが栄進工業に3年前に就職し、今回の出場となったことから当時の学校の進路指導の樋口順一先生や担当教師も見学に訪れ、温かく見守っていた。

あつた狩俣廣一氏から下地良一氏に交代した。令和8年度の総会は7月16日（木）16時より、八仙閣で行うことを決定した。



第12回 西圧協ガス圧接技能大会

「福岡県専工工事業連合会定期総会」、八仙閣（福岡市博多区）にて。▽7月16日（木）18時「九州専工工事業連合会定期総会」、八仙閣（福岡市博多区）にて。

行事日程

▽4月24日（金）18時「福岡県専工工事業連合会定期総会」、一橋小倉店（北九州市小倉北区）にて。▽5月19日（木）18時「（一社）日本型枠工事業協会九州支部定期総会」、WITH THE ST YLE FUKUOKA（福岡市博多区）にて。